

## 弾道ミサイルを想定した住民避難訓練の参観

弾道ミサイルを想定した住民避難訓練が、令和5年5月10日（水）に青森県つがる市で行われました。

訓練は、X国が弾道ミサイルを発射し弾道ミサイルに係る情報が伝達された場合における、住民のとるべき対応・行動の普及・啓発を図るとともに、市町村における初期対応手順能力の向上を図ることを目的に実施されました。

当日は午前10時頃に、国からの緊急情報を瞬時に伝える「Jアラート」が発令されると、訓練参加者らは、つがる市総合体育館（伊藤鉱業アリーナつがる）に避難を開始、同施設では窓から離れた位置で、両手で頭部を守る姿勢を取っていました。

また、屋外では防災イベント会場が設けられ訓練参加者である木造中学校2年生の生徒らが、自衛隊、警察、消防の各担当者の説明に耳を傾けていました。

東北防衛局においては、国の関係機関及び東北各県の地方公共団体が実施する訓練等を通じて、国の関係機関及び地方公共団体等との連携強化を図り、各種事態が発生した際の迅速かつ的確な対応に資するため、これらの訓練への参加・参観を行っています。

当局では、今後各種訓練への参加等や当局独自の各種事態における対処訓練を実施し、更なる緊急事態に備えた体制整備を行ってまいります。

